世界が進むチカラになる。

MUFG

経済調査

中国景気概況（2026年11月）

2026年11月4日
調査部　副主任研究員
丸山　健太

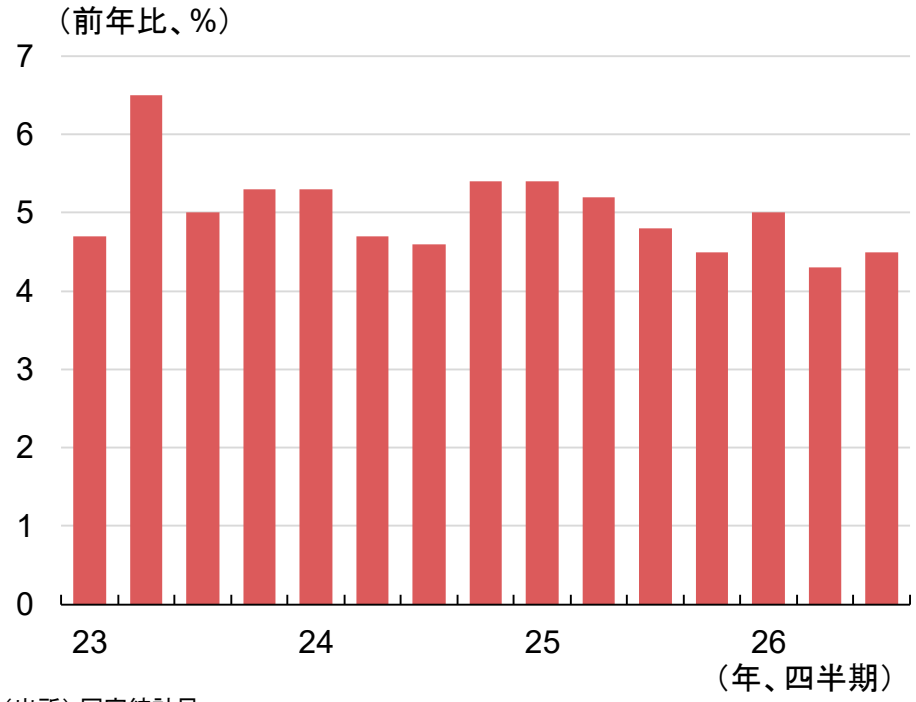
三菱UFJリサーチ&コンサルティング

景気は弱い動き

中国景気は弱い動きが続いているが、改善の兆しもみられる。2026年7～9月期の実質GDP成長率は前年比＋4.5%だった。前期（前年比＋4.3%）から伸びが拡大し、1～9月累計で同＋4.6%と政府目標の「4.5～5%」の範囲内で推移した。

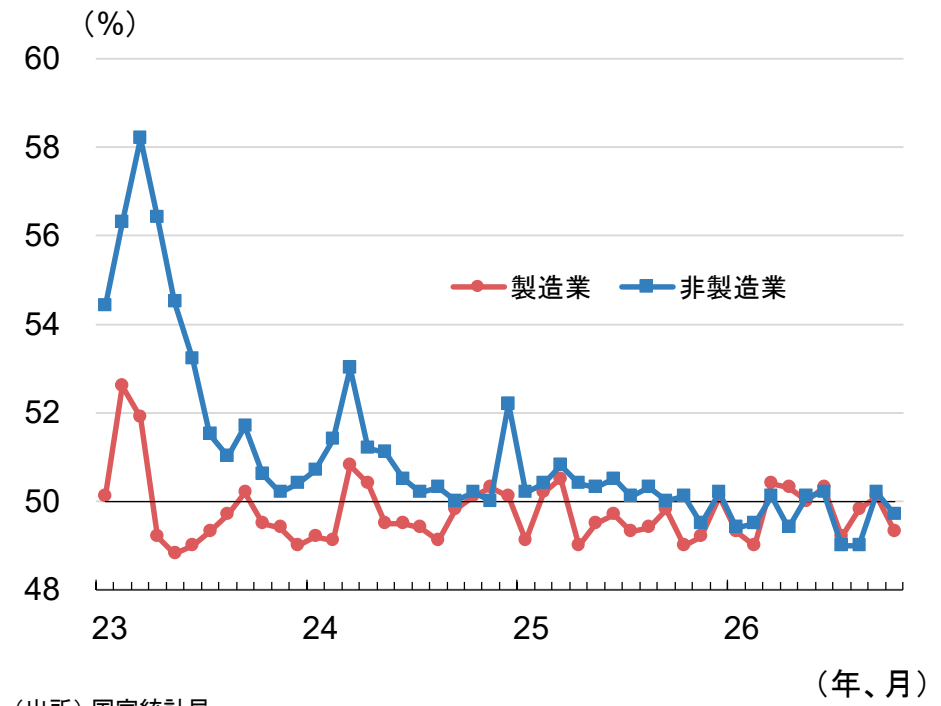
ただし、10月の製造業PMIは49.3と前月から低下し、好不況の境目である50を2カ月ぶりに下回った。構成指数をみると、生産と新規受注の低下が全体を押し下げた。非製造業PMIも49.7と低下し、50を下回った。

実質GDP（四半期）



（出所）国家統計局

PMI



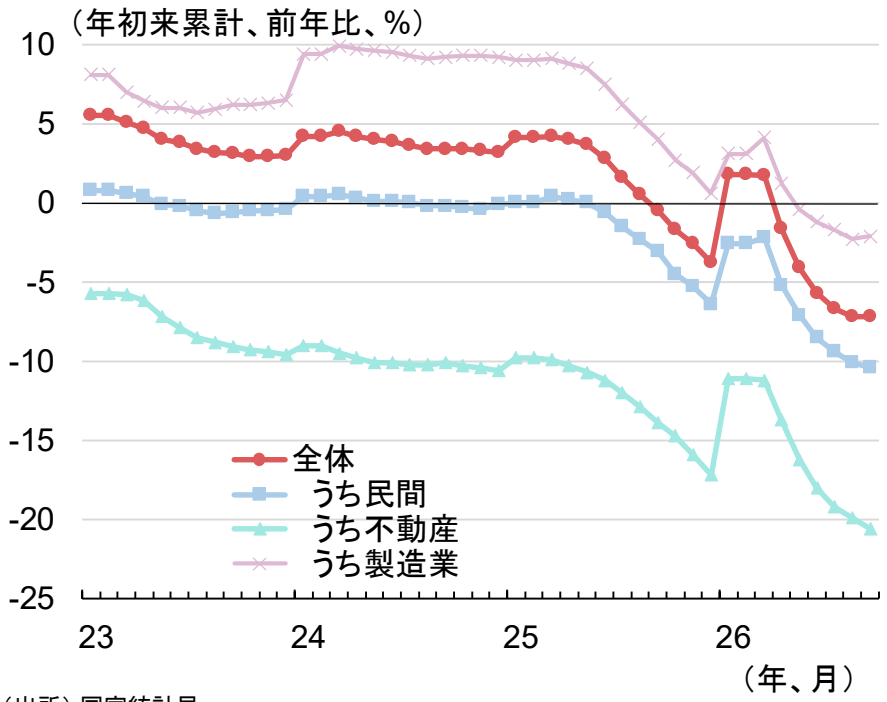
（出所）国家統計局

固定資産投資は減少、生産は底堅く推移

9月の固定資産投資（年初来累計値）は前年比－7.2%と大幅な減少が続いた。もっとも、製造業の減少幅が縮小し、全体の減少幅は前月と同じだった。また、季節調整済み前月比は7カ月ぶりにプラスとなるなど、下げ止まりの兆しがみられる。

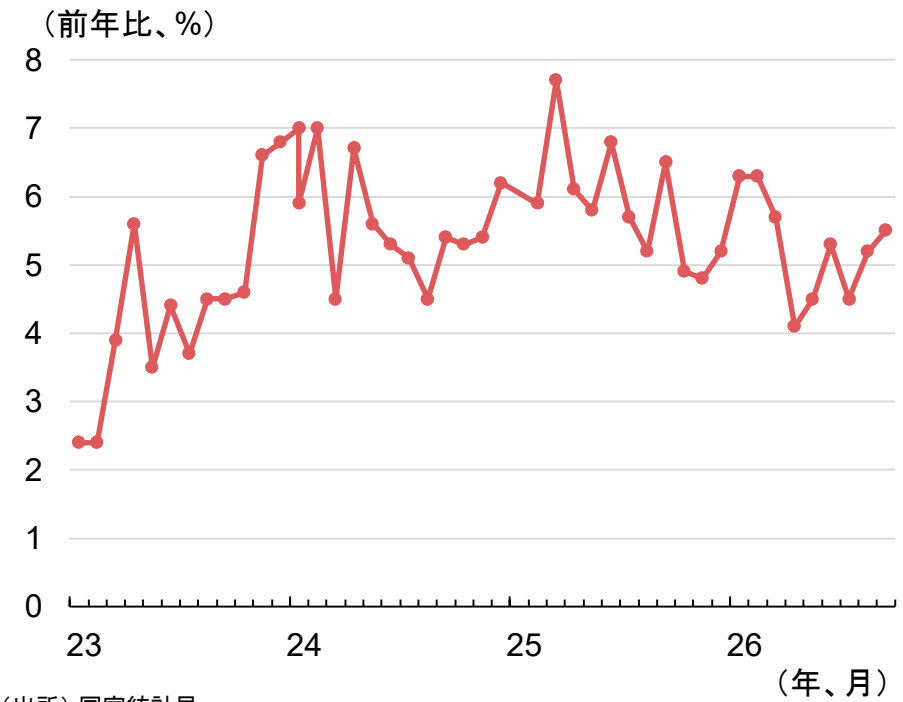
9月の工業生産は前年比＋5.5%と増加し、底堅く推移している。コンピュータ・通信、その他電子設備製造業（前年比＋16.4%）や生産用機械製造業（同+12.1%）を中心に、ハイテク製造業（同＋15.3%）が全体を押し上げた。

固定資産投資



（出所）国家統計局

工業生産



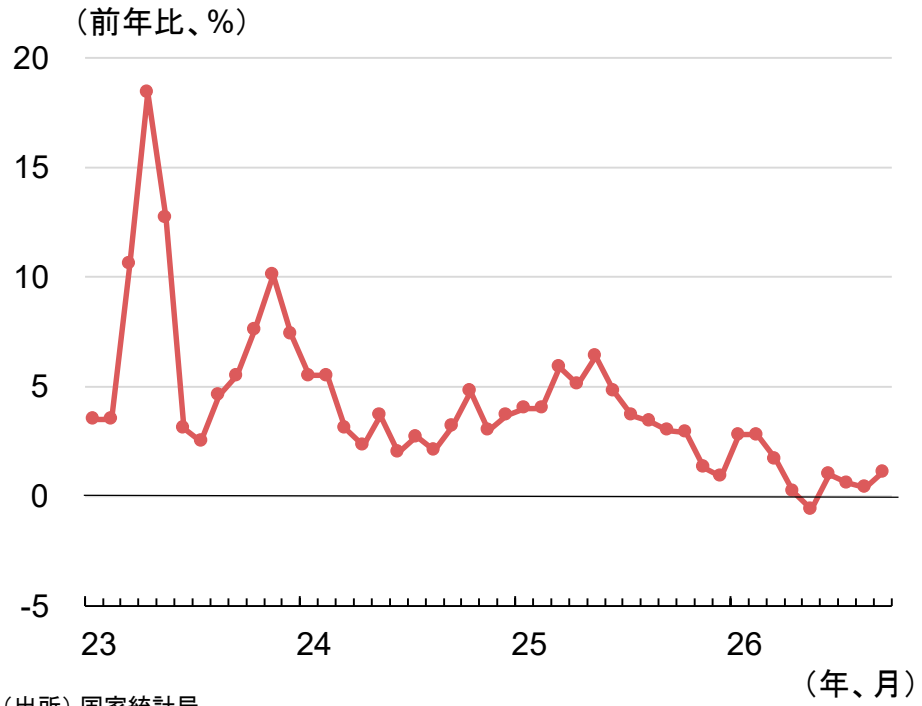
（出所）国家統計局

消費は弱い動き、物価は低迷

9月の小売売上高（名目）は前年比＋1.1%と、前月から増加幅が拡大した。政策効果の剥落や不動産不況を背景に自動車（前年比－21.2%）や建築・リフォーム材料（同－9.2%）、家具（同－3.0%）の減少が全体の伸びを抑制した。一方、通信機器（同＋31.3%）や飲食サービス（同＋2.1%）など増加している品目も多く、消費は弱い中にも改善の兆しがみられる。

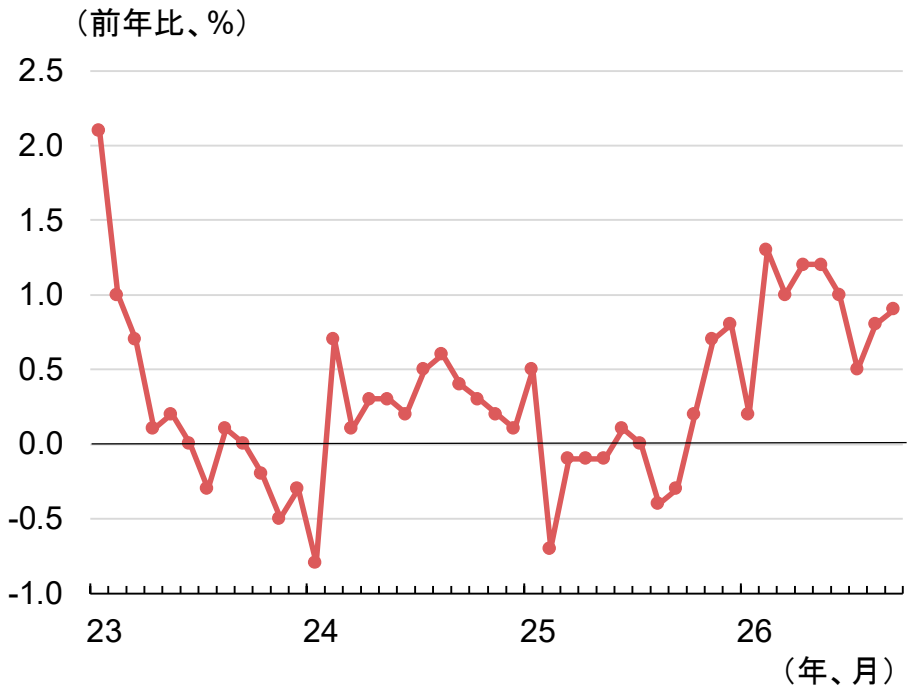
9月の消費者物価は前年比＋0.9%と、豚肉や生鮮野菜を中心に食品価格の下落が大きく、低い伸びが続いた。

小売売上高（名目）



（出所）国家統計局

消費者物価指数

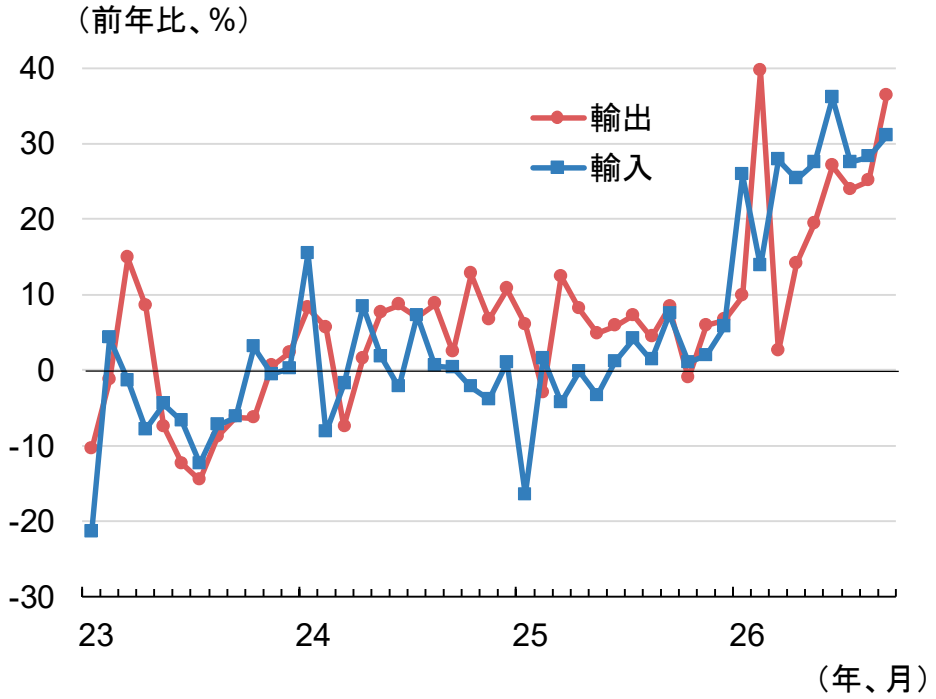


（出所）国家統計局

輸出、輸入ともに大幅増加が続く

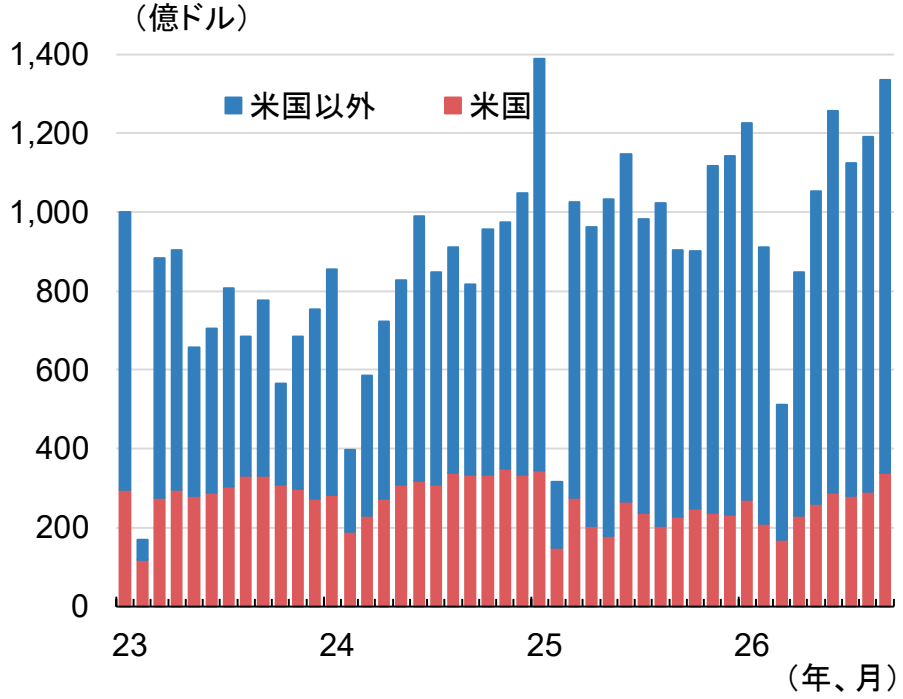
9月の輸出は前年比＋36.3%、輸入は同＋31.0%と、ともに大幅な増加が続いた。輸出はASEAN向け（前年比＋52.3%）や香港向け（同＋51.0%）、米国向け（同＋39.6%）をはじめ、多くの国・地域向けで高い伸びを記録した。品目別では、石油製品（同＋113.8%）や電子部品（同＋92.4%）、PC類（同＋83.4%）の増加寄与が大きかった。輸入は、ASEANなどアジア（同＋43.5%）からの増加が目立った。貿易黒字は1,335億ドルと前年同月（904億ドル）から大きく拡大した。

財輸出入



（出所）海関総署

貿易収支



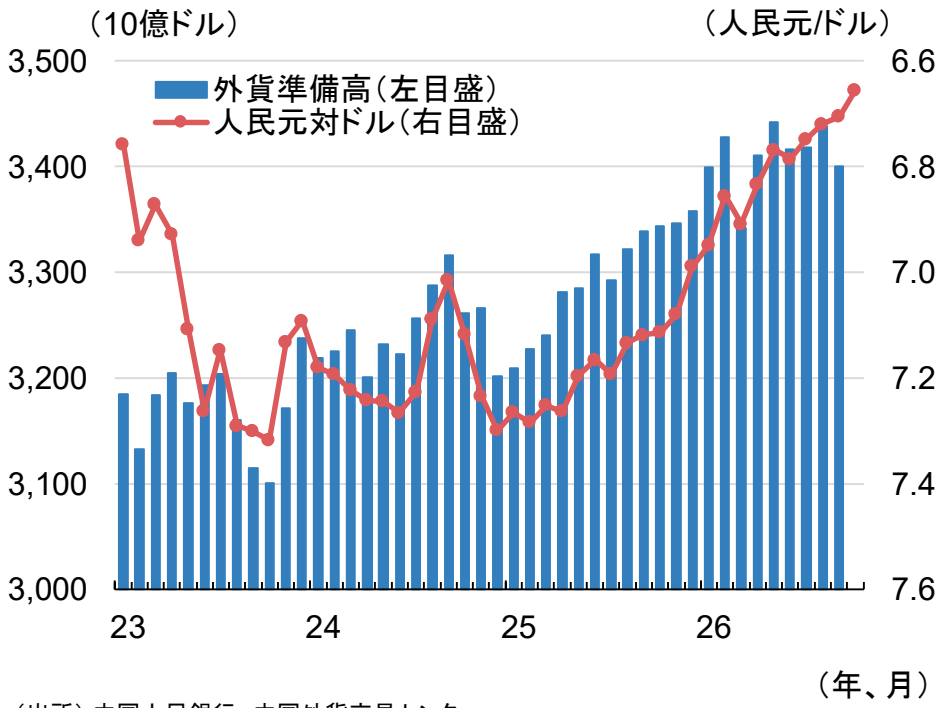
（出所）海関総署

為替は元高、株価は下落

人民元の対ドルレート（10月末）は1ドル＝6.66元と、月末値としては2022年5月以来の元高水準となった。大幅な貿易黒字に加え、米長期金利の低下を受けて、ドル安・元高が進んだ。9月末の外貨準備高は3兆4,003億ドルと減少した。

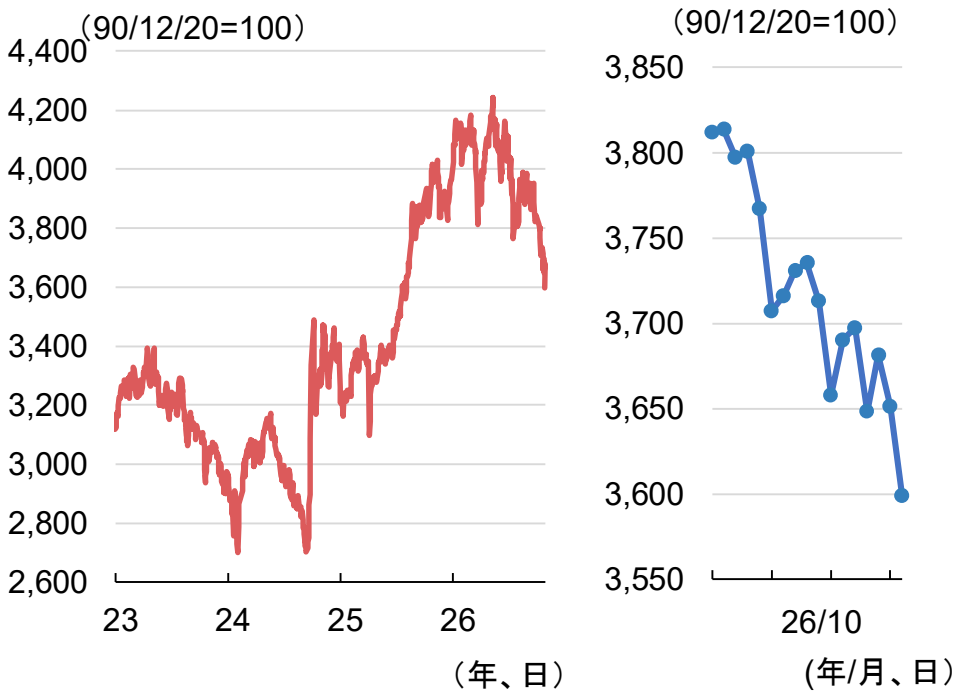
10月の上海総合株価指数は、中東情勢の先行き不透明感の高まりに加え、世界的な半導体株安などを背景に、月間を通じて下落した。業種別指数は、2025年以降の株価上昇を牽引してきた情報や通信の下落が大きかった。

外貨準備高



（出所）中国人民銀行、中国外貨交易センター

上海総合株価指数



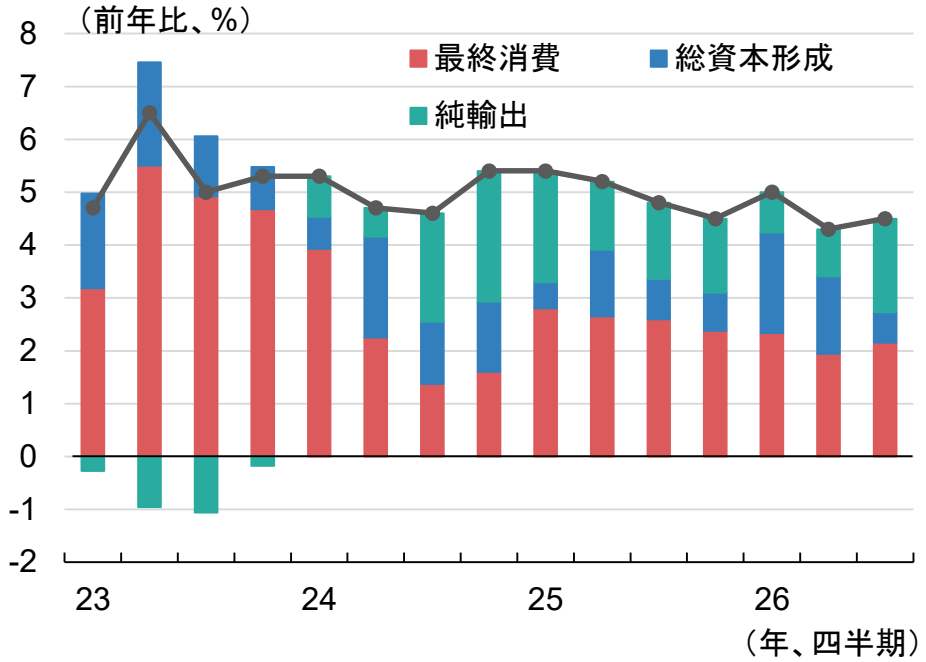
（出所）上海証券交易所

2026年7～9月期のGDP　外需の強さを背景に製造業が成長率を押し上げ

2026年7～9月期の実質GDP成長率は、前期から伸びが拡大した（1頁参照）。需要項目別にみると、総資本形成の増加寄与が大きく縮小し、内需寄与度は低下したものの、輸出の大幅増加を背景に外需寄与度が拡大した（左図）。

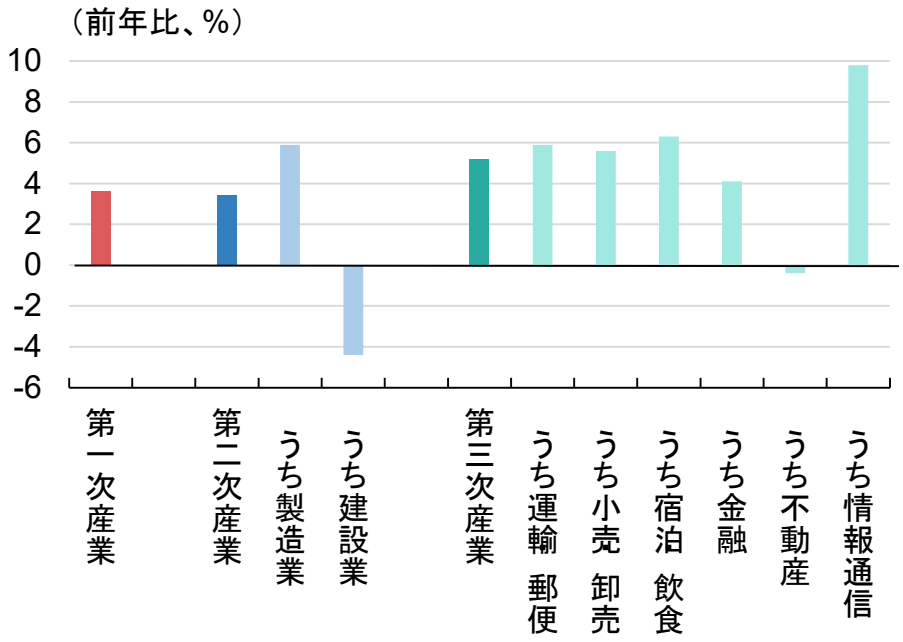
業種別にみると、旺盛な外需に支えられ、製造業の伸びが高まったほか、前年同期の伸びが小さかった小売・卸売や宿泊・飲食も増加幅の拡大が目立った（右図）。一方、不動産不況が長引く中、建設業は6四半期連続で、不動産業は5四半期連続で前年割れとなった。

実質GDP成長率（需要項目別寄与度）



（出所） 国家統計局

実質GDP成長率（業種別、2026年7～9月期）



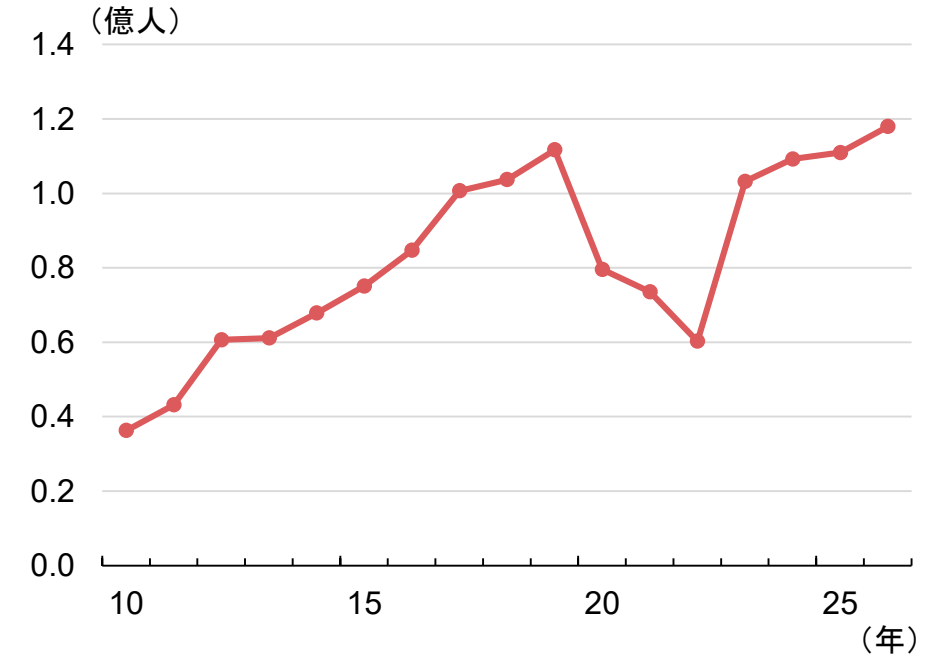
（出所） 国家統計局

国慶節の人出は増加も、財布のひもは依然固い

中国の建国記念日である国慶節（10/1）に伴う大型連休（10/1～7）の1日当たり国内旅行者数は、前年比＋6.3%と増加した（左図）。休日日数は前年より1日短かったものの、今年は中秋節の連休が9月末にあり、間で休暇を取れば最大13連休となる日並びだった。このため、海外旅行需要も高まり、連休中の1日当たり出入国者数は、前年比＋8.1%と増加した。

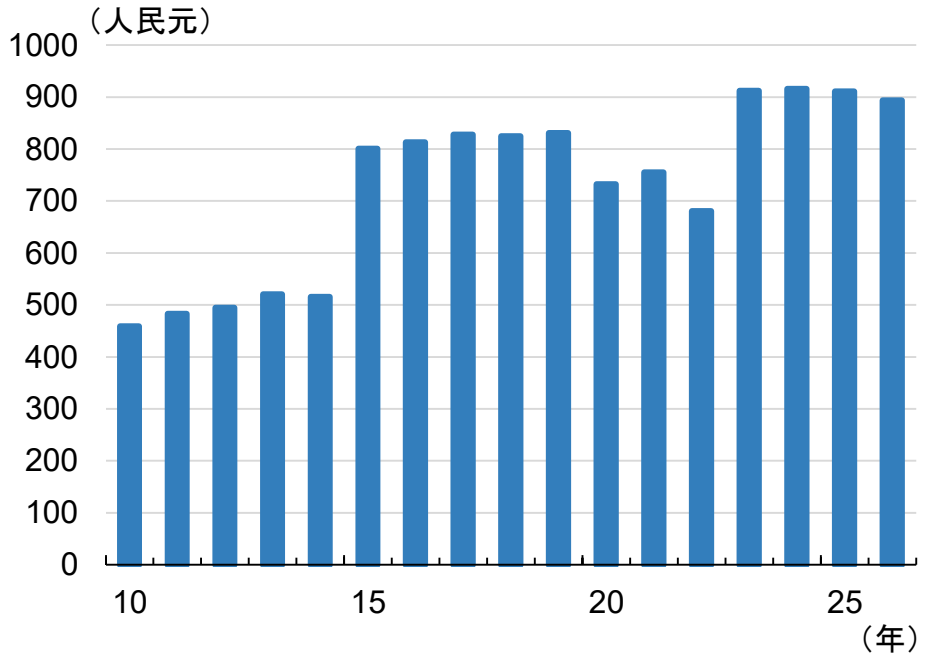
もっとも、連休中の1人1日当たり旅行消費額は2024年以降伸び悩んでおり、今年は前年比－1.9%と2年連続で減少した（右図）。旅行需要は底堅いものの、消費者の節約志向は依然として根強い。

国慶節連休での1日当たり国内旅行者数



（出所） 文化観光部

国慶節連休での1人1日当たり旅行消費額



（出所） 文化観光部

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

（お問い合わせ）
調査部 丸山健太
TEL：03-6733-1630 E-mail：chosa-report@murc.jp
〒105-8501
東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー